

KAMI通信

2月8日(火) No.7

ここ数年、図書・掲示委員会が読書をおすすめするために様々なイベントを考えてくれています。下の表は、2018年度以降の図書室の本を借りた人の人数と借りた本の数です。

コロナのため4、5月は臨時休校

	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度(1月末現在)
本を借りた人数(人)	1148	1101	1058	1673
借りた本の数(冊)	2939	3444	5042	7480

本の1回の貸し出しを「1冊→2冊」までに増やす。

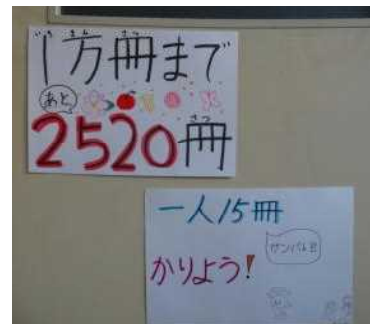
ミニ図書室開始

コロナのための臨時休校があったり、本の貸し出し冊数が増えたりと年度ごとに様々な要因があり、同じ条件での比較ではありませんが、本を借りる児童が今年度増えたのが分かります。

そして、今年度からはミニ図書室を開催しているのも効果があるのか、昨年度に比べても貸し出し冊数がかなり増えています。

めざせ1万冊!

さて、今年度は図書・掲示委員会が「図書室の本を1年間で1万冊借りよう!」と全校に呼びかけて、本を借りてもらうために工夫をしています。1月末現在で借りた本の数は**7480冊!** 1万冊まであと**2520冊**となりました。今年度中に一人15冊借りると達成するところまで来ました。



平成30年度から発行をスタートしたこのKAMI通信。今まで様々な内容をテーマにお届けしてきました。朝ご飯、正しくきざもう体内時計週間表、睡眠、家庭学習ノート…。その中でも、毎年お届けしているテーマが、「正しくきざもう体内時計週間表」と「読書」です。それだけ、私たち教職員が大切にしたいと思っていることなのです。

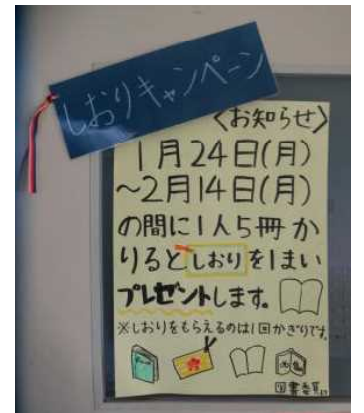
読書の効果 (R1年度KAMI通信より)

- ① 様々な本を読むことで、発想力が豊かになる。
- ② 読書が脳トレになり、脳が活性化する。
- ③ 文の組み立てや構成が上手になったり、語彙力が向上する。
- ④ コミュニケーション力が高まる。
- ⑤ ストレス解消につながる。



読書には、上記のような効果があると言われていています。また、全国学力・学習状況調査の結果から、読書することによって学力が向上するというデータが発表されています。「読書好きであるかどうかは教科の学力の様々な部分と強い関連を示し、その関係の強固さが明らかになった。」(引用:静岡大学、文部科学省「読書活動と学力・学習状況の関係に関する調査研究」)

図書・掲示委員会が呼びかけてくれている「**1年間で1万冊!**」今なら、期間中に5冊借りるとしおりがもらえる【しおりキャンペーン】をやっています。ぜひ図書室に行ってお本を借りましょう!



図書・掲示委員会おすすめの本コーナー。よく貸し出し中になっています。



この他にも、いろんなしおりがあります。好きなしおりを選んでね。

